

青梅市の公の施設指定管理者評価シート 令和3 年度実施分

施設名	青梅市御岳交流センター		
指定管理者名	一般社団法人青梅市観光協会		
指定管理期間	令和2年4月1日～令和4年3月31日	担当課	商工観光課
設置目的	御岳渓谷から御岳山までの地域を中心とした観光情報を発信するとともに、御岳エリアにおける自然を生かしたスポーツ・レクリエーション活動の促進を図り、かつ地域の活性化を図るための拠点施設として設置。		

評価ランク	評価内容
S	協定等を遵守し、仕様よりも優れた管理であった。
A	協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
B	協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。
C	協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

評価項目	評価内容	評価方法	指定管理者評価	評価理由	市評価	評価理由	
管理状況	適性な管理の履行	協定や事業計画に沿った管理が適切に履行されているか。 ・業務の履行(清掃・巡回の回数など)は適切か ・人員配置は適切か。 ・協定や事業計画とおりの管理となっているか など	事業報告書	A	施設貸出については、カヌー協会、ラフティング団体の活動や大会開催に配慮して、全館→駐車場貸出し等の対応において協力して対応を図った。 観光情報についても地元関係団体と連携して情報を入力して適切に提供した。 施設管理については、全職員による落ち葉清掃、草取り、剪定、花苗の植栽を実施するなど景観にも適切に対応した。	A	事業計画や業務基準にもとづき、適切に管理が履行されている。また、施設内外は常に綺麗にしており、コロナ対策を含め様々な状況でも臨機応変に対応している。
	事業報告	定められた期間での報告および連絡が指定管理者からされているか。	事業報告書	A	管理上の対応が必要な場合は青梅市との報告・連絡を密に、速やかな対応に努めた。	A	定められた期間内に報告がされた。
	安全性の確保	管理区域内の安全性については十分に確保されているか。 ・施設の安全性は確保されているか ・協定や事業計画とおりの管理となっているか など	事業報告書 業務日誌	A	青梅市担当職員と随時連絡体制を密に安全体制の確保に努めた。例えば、施設近くの御岳渓谷に複数のホームレスが住み着いたが、警察と情報共有し、適切な対応に努めた。また、新型コロナウイルスの拡大に応じて自動検温器付アルコール消毒機も設置した。	A	空調、自動ドア、エレベーターなど保守・点検を行っており、管理区域内の安全性の確保がされている。また、コロナ対策も状況に応じて行っていた。
	法令等の遵守	個人情報保護のための体制、書類および情報の整理および保管等は適正であるか。 ・市への報告は適時、適切にされているか など	事業報告書	A	個人情報がある書類は保持しないように業務を遂行した。 御岳渓谷のバーベキューによる苦情を受けたが、青梅市・自治会と情報共有し、外国人用の英語看板等も設置した。	A	青梅市情報公開条例および青梅市個人情報保護条例の趣旨にもとづき、適正に報告されている
	業務記録	業務等の記録は、適正に作成、整理および保管がされているか。	業務日誌	A	業務日誌をきめ細かく記載するよう努めた。	A	協定書の定めのとおり、業務日誌を一月毎に取りまとめ、翌月に提出がされている。
	緊急時対応	災害時等の緊急時の体制は整っているか。	マニュアル	A	火災・防災等の安全対策マニュアルを定め対応している。引き続きAEDを2台設置した。	A	事業計画書において緊急時連絡体制が整備されている。
		災害時等の緊急時の対応研修、訓練等は行っているか。	事業報告書 業務日誌	A	御岳インフォメーションセンターと合同でAED使用の訓練を実施した。	A	今年度は、救命講習を開催し、職員の研修を行った。 昨年協議した、避難所開設までの緊急避難所としての施設として、再確認した。
適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか。 ・建物や器具の破損、物品の紛失等はあるか など	事業報告書 業務日誌	A	玄関前のタイルの補修など、早期に適切に対応し、建物の破損はございません。	A	管理運営業務基準にもとづき、速やかに報告されている。	
事業効果等	事業の取組	事業計画とおりのサービスが提供されているか。 ・事業の計画、実施、成果は計画とおりのか など	事業報告書	A	9月自主事業(子供ラフティング)は新型コロナウイルスの感染拡大により、中止となったが、他の事業は実施できた。	B	本年も緊急事態宣言の発出により計画どおり実施できなかった自主事業もあった。
	利用の状況	事業計画とおりの利用状況となっているか。 ・利用者は事業計画とおりのか(環境の変化など外部要因を考慮)	事業報告書	A	新型コロナウイルスの拡大による行動制限期間を除き、事業計画のとおり対応している。ただし、シャワーの利用については止むを得ず中止した。	A	緊急事態宣言のたび重なる延長により、シーズンである新緑の時期から夏の時期にかけては、やはり例年の人数には届いていない。ただ、コロナ禍2年目での観光客の意識も少し変わりつつあり、宣言下においては昨年よりも微増となっている。また、宣言が解除された紅葉時期には、例年より格段に数が増えた。
	利用者意見の収集	利用者アンケート等を年1回以上実施し、利用者意見の収集をおこなっているか	アンケート	A	1年中意見箱アンケートを実施した。夏シーズンは場分タブレットを配布してアンケート回収を増やした。	A	利用者アンケートは年間を通じて設置しており、利用者の意見は年間を通じて収集している。
		利用者の満足度を得られているか。 ・職員の接客対応、利用条件等は適切か	アンケート	S	アンケート等を基に月1回、小澤会長も同席して、従業員研修を実施して接客の向上、情報共有に努めた。	A	業務日誌において、月1で管理業務員が参加する研修を毎月行っていることを確認している。研修では利用状況を検証し接客の改善などについて協議している。
	利用者意見に対する対応	利用者アンケート等による意見に対し、適切に改善策が講じられているか	アンケート	A	来訪者の立場に立った接客の向上を目指し、研修により利用者の求める情報の共有に努めた。	A	アンケート等の意見については、研修会において対応策を協議し対応している。
	行政目的の達成	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか。 ・施設の設置目的を達成しているか ・市および関係機関との連携が適切に行われているか など	事業報告書	A	地元観光協会や御岳ビジターセンター、御岳インフォメーションセンター等と連携して御岳山・御岳渓谷のイベント情報を提供した。	A	市や関係機関と適切に連携を図り、地域の活性化に貢献している。その他、市の事業にも協力的である。
	その他提案内容等	指定管理者選定時に提案のあった事項等について、提案とおりに実施できたか	事業報告書	A	市より災害時の地元住民の受け入れについての要望があり、市民センター、防災担当部署等と調整し、宿泊、駐車場の対応を図ることとした。	A	センターや防災課と調整し、地域住民らの避難所開設までの待機場所として協力的に対応した。
会計	処理	管理業務の会計に関する帳簿、書類の整備および保存は適正にされているか。	伝票	A	週1日勤務で会計担当職員を雇用して対応した。	A	会計監査および総会などにおいて、帳簿、書類の整備および保存が適正にされていることを確認している。
	管理	現金等の管理は適正であるか。また、金庫等の鍵の管理は適正であるか。	伝票	A	会計担当職員が金曜日ごとに、売り上げ、現金を確認し対応した。	A	会計監査などにおいて、現金や金庫の鍵など適正に管理されていることを確認している。
収支状況	施設の収支決算状況	赤字決算に陥っていないか。 予算と決算に大きな相違があった場合はその相違の理由が的確である。	決算書	A	週1日勤務で会計担当職員を雇用して対応した	A	決算書において適正な収支決算状況であることを確認している。
	指定管理者の収支決算状況	経常利益率(経常利益÷売上高×100(当期経常増益額÷経常利益×100))がプラスになっており、赤字決算に陥っていない。	決算書	A	決算書のとおり	A	決算書において適正な収支決算状況であることを確認している。
		借入金に依存した資本構造ではなく、自己資本比率(自己資本(または正味財産)÷総資本×100)が30%以上となっている。	決算書	A	決算書のとおり	A	決算書において適正な収支決算状況であることを確認している。
	流動比率(流動資産÷流動負債×100)が100%以上となっており、事業継続の安全性に不安がない。	決算書	A	決算書のとおり	A	決算書において適正な収支決算状況であることを確認している。	

1 指定管理者自己評価における評価理由、意見等

評点	数	記入欄
S	1	<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大から2年目を迎えたが、依然として緊急事態宣言が発出されるなど、行動制限が求められたことにより、秋のライトアップ事業が中止されるなど、施設の管理運営に関連して難しい対応が求められた年であります。しかし、こうした状況においても、御岳交流センターの基本理念「御岳エリアを中心とした観光情報の発信、自然を生かしたスポーツ・レクリエーション活動の促進を図り、かつ地域の活性化」を図るといふ施設のミッションの実現を図るために、引き続き地元の人材を活用する中で、豊かな自然に恵まれた御岳エリアの活性化に向け努力いたしました。</p> <p>新型コロナウイルスの安全対策としては、窓口へのアクリル板や自動検温器付きアルコール消毒器を設置、駐車場料金徴収の自動化など、施設の安全な使用を目指して努力いたしました。</p> <p>また、当協会が御岳渓谷から日の出地区に設置したライブカメラについても、青梅市御岳交流センターの施設を活用して対応いたしました。自主事業においては、地元のアクティビティ団体の使用や自然保護団体と連携した自然観察会を実施いたしました。</p>
A	20	
B	0	
C	0	

2 市の評価、意見等

評点	数	記入欄
S	0	<p>今年度も4月末から緊急事態宣言が発令され、厳しい運営状況が強いられた。宣言後には、まん延防止措置等重点措置期間のたび重なる延長があったが、秋シーズンに行動制限の解除されたことや感染対策の習慣化などにより、コロナ前の数までではないものの昨年よりも上回った。</p> <p>また、指定管理者は、今年度は青梅市御岳交流センターを活用して御岳渓谷等にライブカメラを設置し、コロナ禍における観光客の情報提供に活用したほか、市事業やカヌー協会事業、その他イベントなどに協力的であった。施設については、新型コロナウイルス感染症対策に取り組みながら、協定書や運用基準にもとづき適切に管理されている。</p> <p>自主事業については、9月にラフティングを計画していたが、緊急事態宣言の延長により中止となった。その他の事業については、各種イベントが中止される中で、開催時期を変更するなど対策を行いつつ実施し地域の活性化に努めた。</p>
A	20	
B	1	
C	0	